

シラバス参照方法

シラバスとは、授業の内容や担当教員、評価の方法等が記載されたものをいいます。履修登録の際、UNIPAで参照してください。

【シラバス参照方法】

- ① UNIPAにログインし、メニューバー「授業」からシラバス照会を選択します。

- ② シラバス検索の画面に移るので、「科目名称・教員氏名・曜日時限・キーワード※」のいずれかに入力し、検索をクリック（※全角カナ入力でも検索可能）。

■履修登録画面等で確認した情報をもとに検索して、対象のシラバスを参照してください。

履修に関する内容

【シラバスレイアウト】

UNIPAでシラバスを照会すると下図のように表示されます。

科目群	共通科目群		
科目コード	1110036	授業区分	週間授業
授業科目	基礎ゼミⅠ		
担当教員	山内 真		
配当年次	1	※必修・選択区分	必修
配当学期	前期	アクティブラーニング	グループワーク
単位数	1	実務家教員担当科目	□○・ーを入力
開講キャンパス	臨内キャンパス		
【ディプロマ・ポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度
□○・○・無印を入力	□○・○・無印を入力	□○・○・無印を入力	□○・○・無印を入力
□	□	□	□
※ 授業概要	大学生生活への円滑な導入を目的とした科目である。 少人数のグループに分かれ、食料産業を学ぶことの社会的意義、大学での主体的な学習の進め方、大学生に求められる社会的マナー、対人関係の築き方などについて演習を通じて理解を深める。また、学生と教員の親睦を深めながら学生生活に対する不安を解消し、食と農の魅力を探し見つけ出していくために地域を元気にする食農プロジェクトを考える。		
※ 到達目標	・大学で学ぶ姿勢や基礎的な技術を習得し、教員との交流により食農産業の魅力を確認する。 ・学生同士や教員との親睦の深め充実した学生生活を送っていく人間関係を築く。 ・自分の知恵を出し合いグループでプロジェクトを構築していく流れを体験する。		
回数	授業計画	担当教員	
1	□ 授業計画を入力 ガイダンス（授業のねらいと進め方、評価方法説明）、大学での学び方	□ 担当教員を入力 山内 真	
2	□ 授業計画を入力 大学生活をより有意義なものにするための、学生同士や教員学生間の交流の促進	□ 担当教員を入力 山内 真・他	
3	□ 授業計画を入力 食料産業を学ぶことの意義	□ 担当教員を入力 ゼミ教員	
4	□ 授業計画を入力 レポート・メールの書き方（1）作成の手引き	□ 担当教員を入力 ゼミ教員	
5	□ 授業計画を入力 レポート・メールの書き方（2）演習とその評価	□ 担当教員を入力 ゼミ教員	
6	□ 授業計画を入力 学びのモチベーション（1）意欲的な心構え：実践行動学Part1	□ 担当教員を入力 ゼミ教員（ファシリテーター）	
7	□ 授業計画を入力 学びのモチベーション（2）モチベーションとは：実践行動学Part1	□ 担当教員を入力 ゼミ教員（ファシリテーター）	
8	□ 授業計画を入力 学びのモチベーション（3）目標の設定：実践行動学Part1	□ 担当教員を入力 ゼミ教員（ファシリテーター）	
9	□ 授業計画を入力 キャリアデザイン（人生設計）、自分の将来像の構想	□ 担当教員を入力 ゼミ教員	
10	□ 授業計画を入力 地域を学ぶ	□ 担当教員を入力 ゲスト講師	
11	□ 授業計画を入力 持続的社會と食料産業：地域貢献プロジェクトを考える	□ 担当教員を入力 ゼミ教員	
12	□ 授業計画を入力 グループディスカッション演習	□ 担当教員を入力 ゼミ教員	
13	□ 授業計画を入力 プレゼンテーションの方法・演習（1）	□ 担当教員を入力 ゼミ教員	
14	□ 授業計画を入力 プレゼンテーション演習（2）	□ 担当教員を入力 ゼミ教員	
15	□ 授業計画を入力 まとめ 大学で学ぶ、食料産業を学ぶ意義	□ 担当教員を入力 山内 真・他	
※ 評価方法	講義時の小課題（40%） 提出課題（レポート、プレゼンテーション等）（60%）		
※ 教科書（必ず購入する書籍）	担当教員作成による資料を配付する。		
※ 参考書 等	特になし。		
※ 事前学習（分）	大学での学びは自主性が重要です。そのため、授業計画を参考として事前に講義内容に沿った学習を行ってください（80分）。		
※ 事後学習（分）	授業内容をノートに改めて整理してください。また、課題の提出や発表に備えて準備を自宅でしっかりと行ってください（80分）。		
※ 備考	上記の授業計画は、ゲスト講師の予定により、変更となる可能性がある。		

■シラバス照会の画面で印刷することも可能です。右上に表示される印刷ボタンを選択し、印刷を実行してください。